

# とやま

県広報とやま  
2001 | 5・6  
月合併号  
No.384

富山県

特集 進めます! とやまのIT



立山連峰からの豊富な雪解け水が流れ込む黒部川のほとりで、黒部名水ポークの生産に励む木島さん夫婦（中央の二人）。地元の協力者と一緒に。

4月  
9日

## 社会人と共に学ぶ新しい 学校が新設

### 生涯学習校が開校

定時制単位制高校の新川みどり野高校(魚津市)ととなみ野高校(小矢部市)に県民生涯学習カレッジ地区センターを併設した生涯学習校が四月九日に開校しました。

この日は、開校に併せて両高校で入学式が行われ、第一期生として、新川みどり野高校百七人、となみ野高校百一人の生徒が入学。それぞれ、新しい校歌と校旗が披露され、新入生は、新しい学校生活の第一歩を実感し、希望に胸を膨らませていました。これらの高校では、生



学校生活への期待に胸を膨らます新入生(となみ野高校)

徒自身が時間割を決め、自分のペースで学ぶことができます。

また、併設された地区センターでは、特色ある講座が開かれるほか、地域の活動や交流の場として、施設が開放されます。

生涯学習校では、高校と地区センターの連携によって、社会人が高校の授業を受け、高校生がカレッジの講座を受けるなど、社会人と高校生が同じ教室で共に学ぶところが特徴となっています。

### 問合せ

県教育委員会総務課

☎ 076(444)3429

4月

12日

## 県民の声を県政に反映

### 県政モニター委嘱状交付式

県政モニターへの委嘱状交付式が四月十二日、県庁で行われました。

県政モニター制度は、県民の声を県政に生かすことを目的に、昭和五十六年度から実施しています。十一期目となる今回は、市町村推薦の百四十九名

と公募による百一名を合わせた二百五十名が委嘱されました。交付式では、中沖知事が、モニター代表の南千春さんに委嘱状を手渡し、県の事業や施設をよく知ってもらい、率直な意見や要望を聞かせてほしいとあいさつしました。



中沖知事からモニターへ委嘱状の交付

県政モニターは今後二年間にわたり、県が実施するアンケートへの回答や、懇談会への参加のほか、随時、県政に対する意見や提言を行います。県では、これらの声を受けとめ、施策に反映させていくこととしています。

### 問合せ 県庁広報課

☎ 076(444)3133

5月  
7日

## 県西部でパスポート申請 が可能に

### 高岡旅券センターがオープン

五月七日、県旅券センター高岡支所(通称:高岡旅券センター)が高岡市御旅屋町の御旅屋セリオ内にオープンしました。

今回の開設で、高岡市でパスポートの申請と交付が可能になり、県西部にお住まいの皆さんにとって、利便性が大きく向上しました。



オープン初日にパスポート申請をする利用者

場所 高岡市御旅屋町一〇一

御旅屋セリオ七階

受付時間

・申請 午前十時～

午後四時三十分

・交付 午前十時～

午後五時三十分

閉庁日

土・日・祝、年末年始

(十二月二十九日)

一月三日)

その他

・新規発給の場合、申請から

交付までは七日(閉庁日を除

く)かかります。

・自家用車でお越しの方は、「御

旅屋グリーンパーキング」を

ご利用ください。(旅券センタ

ー利用者は無料になります)

### 問合せ

県庁国際・日本海政策課

☎ 076(444)3156

県旅券センター高岡支所

☎ 0766(27)1855





## CONTENTS 目次

TOPICS【トピックス】	1
県政の動き / 県ナビとやま	2
特集	3
進めます！とやまのIT	
CLOSE UP【クローズアップ】	7
美しい散居村を守り伝えるために —となみ野地区田園空間整備計画—	
とやま感動案内	9
桜ヶ池クアガーデン	
とやまのやる気・元気	11
県産豚の改良と普及に取り組む 木島 敏昭さん	
インフォメーション	12
県政ミニガイド	13
行ってみよう情報	14
とやま音のある風景	15
矢部ではねる鯉 [ 福岡町 ]	

## 県政の動き (4/1~5/10)



- 4月1日** 海竜マリナーパーク、一般供用開始
- 2日** (財)富山県新世紀産業機構発足式
- 9日** 新川みどり野高校・となみ野高校開校式及び  
県民カレッジ地区センター開設式
- 12日** 県政モニター委嘱状交付式
- 23日** 第23回富山県総合雪対策推進会議
- 25日** 北陸新幹線上越～富山間の工事実施計画が認可
- 5月7日** 県旅券センター高岡支所 開所式  
第5回全国世界遺産都市会議(～8日)  
社会に学ぶ「14歳の挑戦」が小杉中など3校を皮  
切りにスタート



### No.1

県消費生活センターでは、県民の消費生活の安定と向上を図るため次のような仕事をしています。  
皆さんの暮らしを応援する当センターをお気軽にご利用ください。

#### (1) 相談

##### ①消費生活相談

商品・サービスなどの購入、消費の過程で起きた消費者被害についての相談

##### ②消費者金融相談

サラリーマン金融の利用者からの相談

#### (2) 消費者教育、啓発

消費者被害の未然防止のため、消費者スクール、消費生活講座などを開催

#### (3) 商品テスト

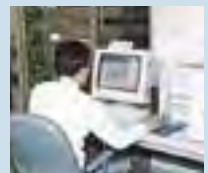
苦情相談のあった商品について、原因究明テストなどを実施

## 県消費生活センター

### 消費者取引等に関するトラブル解決のお手伝いをします

#### (4)消費生活情報の提供

ホームページで、消費生活情報を提供(センター内に来訪者用のパソコンを設置)



#### DATA

##### 県消費生活センター

〒930-0805 富山市湊入船町6-7

県民共生センター内

☎ 076(432)9233

(消費生活相談)

☎ 076(433)3252

(消費者金融相談)

##### 同高岡支所

〒933-0045 高岡市本丸町7-1

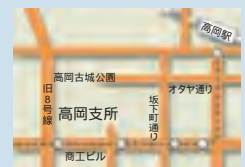
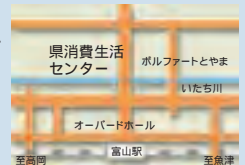
本丸会館内

☎ 076(25)2777

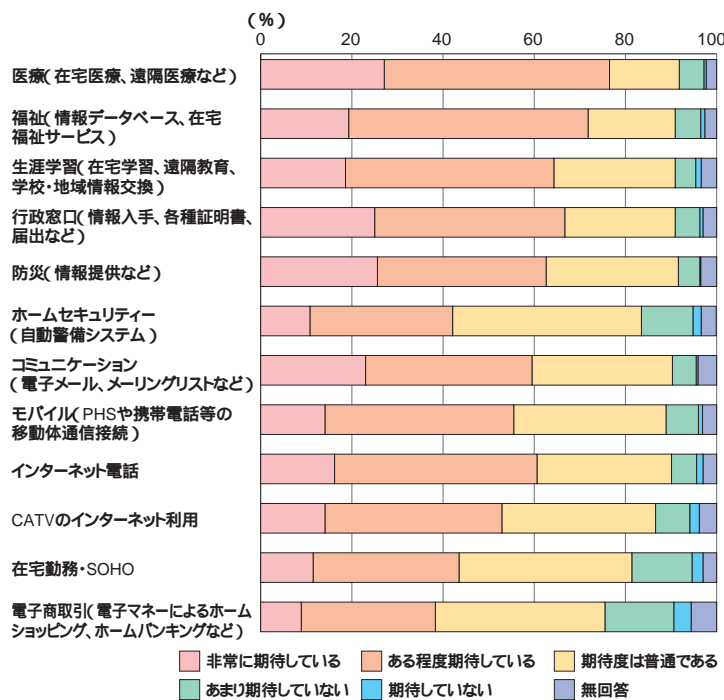
開所時間はいずれも午前8時30分から午後5時まで

ホームページ

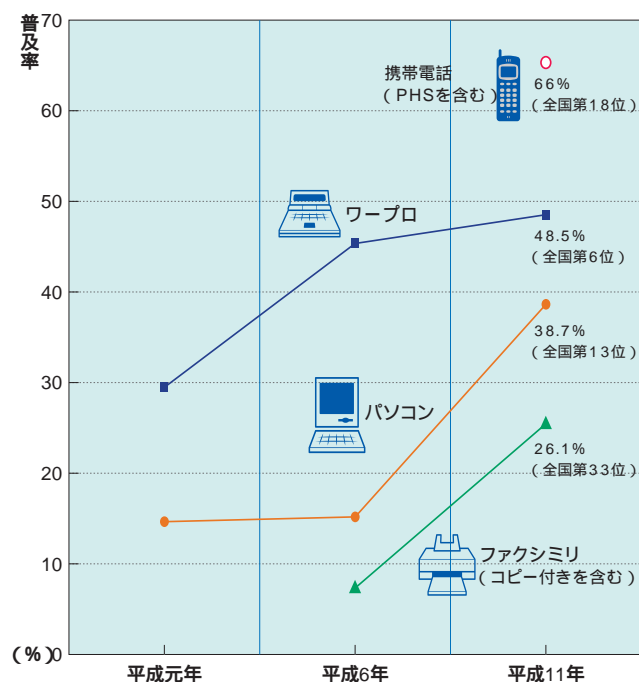
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1731/1731.htm>



情報化の分野ごとの利用期待度  
(平成10年度総合計画有識者アンケート調査)



富山県におけるパソコン等の普及率  
(総務省統計局の平成11年全国消費実態調査)



ITの活用で変わる私たちの暮らし  
私たちが日常生活を送るうえで、「情報」は欠かすことはできません。これまではテレビ、ラジオ、新聞、雑誌などから必要な情報を手に入れ、電話、手紙・はがきなどで自分の意思を相手に伝えることがほとんどでした。しかし、今ではインターネット、電子メール、携帯電話、CATV(ケ

IT講習  
県民誰もが、パソコンの基本操作やインターネットの利用方法などを習得できるようにするため、IT講習を実施しています。県では、今年度、県情報工房などで開催するほか、各市町村でも学校や公民館などを活用して開催しています。開催日、開催場所など詳しくは県庁情報政策課または各市町村担当窓口へお問い合わせください。

1 だれでも必要な情報を活用できるように  
インターネットなどの急速な普及により、ITを利用できる人とそうでない人との間に情報格差が生じる懸念があります。このため、県では、子どもから高齢者まで県民誰もがITを使い、氾濫する情報のなかで、必要な情報を活用できるように、情報活用能力の向上に努めています。

1 だれでも必要な情報を活用できるように  
インターネットなどの双方向性のある新しい情報通信機器・手段を活用した情報のやりとりが進んでいます。ここ最近、テレビや新聞などで「IT」という二文字を見ない日はないほど、生活、教育、ビジネスなどあらゆる分野でITの活用が進んでいます。ITの進展により産業・社会構造が急激に変化する、いわゆる「IT革命」に対応するため、県では様々な分野での活用を進めています。

# 進めます! とやまのIT

ここ最近、テレビや新聞などで「IT」という二文字を見ない日はないほど、生活、教育、ビジネスなどあらゆる分野でITの活用が進んでいます。ITの進展により産業・社会構造が急激に変化する、いわゆる「IT革命」に対応するため、県では様々な分野での活用を進めています。

IT:Information Technology(インフォメーションテクノロジー)の略で、日本語に訳すと「情報通信技術」。あらゆる情報をすばやく収集・処理・伝達できる、新しい情報のやりとりに関する技術全般のことです。インターネットや電子メール、携帯電話等でのモバイル通信はその一例です。

## 平成13年度の県の主なIT関連事業

- ### 1 マルチメディア社会を切り拓く人づくり

IT講習の実施  
 県立学校の校内LANの整備(全県立高校での整備が完了)  
 私立学校が行うマルチメディア室や校内LANの整備への助成  
 子どもたちを対象に、ITを活用して実現したいアイデアを募集するコンテストの実施  
 職業能力開発校でのIT化に対応した職業訓練の実施
- ### 2 心豊かで健やかに安心して生活できるマルチメディアライフの確立

インターネット市民塾の実施  
 CATVの介護・福祉サービス分野への活用検討  
 学校教材の編集などに活用する教育用の映像データベースシステム「とやまデジタル映像ライブラリー」の実験運用(平成14年度本格運用)
- ### 3 デジタル革命に対応した産業づくり

IT関連事業者を対象としたインキュベーション施設の整備  
 企業の業務革新などのモデル的なシステム開発に対する支援  
 新産業・ベンチャー創出支援資金(IT推進枠)の創設  
 県中小企業支援センターへのIT専門相談員の配置  
 IT関連製品の開発・製造等に対する助成
- ### 4 マルチメディア社会に対応した行政の情報化

国や市町村との緊密な情報共有を可能にする総合行政ネットワークの構築など、電腦県庁の推進  
 県のホームページを携帯端末に対応するなど行政情報提供の充実  
 地理的データと各種情報を組み合わせて表示する「地理情報システム」の整備推進
- ### 5 マルチメディア社会を支えるネットワークインフラの整備

CATV施設の整備に対する助成  
 携帯電話等の不感地帯解消のための移動通信用鉄塔の整備に対する助成  
 高速大容量ネットワークを活用した先導的な研究開発の支援

特集についての問合せ(ご意見は県庁情報政策課まで)  
 ☎ 076(444)3116

発を公募します。開発されたシステムの導入効果等を広く普及していきます。

**新産業・ベンチャー創出支援資金(IT推進枠)の創設**

中小企業が行う、自社のIT化を図るための設備の導入や、IT関連製品の製造のための設備投資に対して支援する融資制度を創設しました。

(設備資金の場合)

- ・融資限度額 一億円
- ・金利 年一・五%以内
- ・貸付期間 十年以内

**4 行政の情報化と情報基盤の整備**

**電腦県庁の推進**

県では、各種申請・届出等の手続きをインターネット上で行う「電腦県庁」を平成十五年までに実現するための取組みを計画的に進めています。その第一ステップとして、四月から、各種申請書の様式をホームページから入手できるサービスを行っています。(十三ページでも紹介しています)

**全県域でケーブルテレビを整備**

情報通信基盤の整備については、県ではとくに、CATV(ケーブルテレビ)の整備を積極的に進めています。

CATVは、地域密着型の自主制作番組が提供できること  
 高速・低廉で常時接続可能なインターネットなど双方向性を生かした通信サービスが提供できること  
 の二つの大きな特長があります。平

成十二年度末現在で世帯カバー率が約七〇パーセントとなっており、今後、全県域をカバーできるよう整備を進めていきます。

**ITを使って豊かな社会に**

ITの活用が進むと、私たちの暮らしも大きく変わります。例えば、在宅での勤務が可能になると、育児などで家から出られない人にも就労の可能性が広がります。

また、県への申請や施設予約もわざわざ県庁や施設へ出向く必要がなくなり、時間が節約できるなど便利になるでしょう。

県では、県民の皆さんが、誰でも主体的に、そして自由に情報の受発信を行い、いきいきと輝きながら、豊かに暮らすことのできる高度情報社会の実現をめざしていきます。



コンピュータ室を2部屋整備し、授業へのパソコン活用に積極的な富山市内の小学校。テレビ電話を通じて、老人ホームや他校児童との交流を深める取組みを行っている。



**小さいときから慣れ親しむ**

子どもたちが、普段からコンピュータに慣れ親しみ、情報活用能力を身につけるよう、学校での情報通信環境の整備を進めています。

また、情報通信への関心を高めるとともに、子どもたちの斬新な発想を養うため、小中高校生等を対象にITを活用して実現したいアイデアを募集する「とやま情報ネットワークアイデアコンテスト」を実施していきます。

暮らしに便利な主な情報システム

とやま学遊ネット	学習機会、イベント、団体・サークルなど約92万件の生涯学習情報を登録 http://www1.tkc.pref.toyama.jp/NET/NET.HTM
救急医療情報システム	在宅当番医、診療科目や診療時間など県内のすべての医療機関に関する情報を登録 http://www.qq.pref.toyama.jp/
福祉情報システム	福祉に関する施策や人材・ボランティア情報、保健・医療情報を登録 http://www.wel.pref.toyama.jp/
とやまスポーツ情報ネットワーク	スポーツに関するイベントや団体・サークル、施設や指導者情報を登録 http://www.sportsnet.pref.toyama.jp/
冬期道路情報システム	冬期間の道路の積雪状況、静止画像等の情報を提供(毎年11/15~3/31) http://www.toyama-douro.toyama.toyama.jp/

**2 暮らしに活用するIT**

**自宅で学習講座を受けられる「インターネット市民塾」**

会社勤めの人などは、学習意欲が高くてなかなか日中に時間がとれないのが実情です。

インターネット市民塾は、インターネットを通じて自宅で生涯学習講座を受講できるもので、時間を気にせず自分の好きな時間に講座を受けることができます。

URL <http://toyama.shiminjuku.com/general/TopPag.asp>

**3 産業のIT化を支援**

IT化の進展は、企業活動の効率を飛躍的に高めるとともに、従来にはなかった新たなビジネスチャンスを生み出します。このため、県では、半導体等の製造メーカーの集積を促進するとともに、ソフトウェア産業等のIT関連産業の活性化や県内産業のIT化の推進に努めています。

**起業家を支援するインキュベーション施設(起業化支援施設)の整備**

IT関連産業の活性化を図るため、ベンチャー企業やSOHO事業者など

CATV(ケーブルテレビ)は、地域密着型のメディアとして、多彩で身近な情報をきめ細かく提供できるとともに、インターネットとの接続により、双方向性のある低廉、高速な通信サービスを提供できます。その特性を生かして、介護・保健・医療・福祉サービス分野への活用が期待されています。県では、昨年度から検討を進めており、今後、モデル事業を実施しながら、活用方法を検討することになっています。

**CATVを介護・福祉サービス分野に活用する**

CATV(ケーブルテレビ)は、地域密着型のメディアとして、多彩で身近な情報をきめ細かく提供できるとともに、インターネットとの接続により、双方向性のある低廉、高速な通信サービスを提供できます。その特性を生かして、介護・保健・医療・福祉サービス分野への活用が期待されています。県では、昨年度から検討を進めており、今後、モデル事業を実施しながら、活用方法を検討することになっています。



県総合情報センターに整備されるインキュベーション施設のイメージ図

**企業の業務革新などのモデル的なシステム開発に対する支援**

企業のIT化を推進するため、企業の業務革新に効果があり、電子商取引に対応するモデルシステムの開

発を公募します。開発されたシステムの導入効果等を広く普及していきます。

**企業業務革新などのモデル的なシステム開発に対する支援**

企業のIT化を推進するため、企業の業務革新に効果があり、電子商取引に対応するモデルシステムの開

SOHO: Small Office Home Office (スモールオフィス・ホームオフィス)の略で、自宅や小規模な事務所で行事をする在宅勤務形態の総称

を対象としたインキュベーション施設を県総合情報センターに整備します。この施設では、低廉な家賃や通信環境等の整備による事務所の提供に加え、資金面、技術面、販路開拓の相談・助言などの支援を行います。

# 美しい散居村を守り伝えるために

## - となみ野地区田園空間整備計画 -

砺波平野の散居村は、屋敷林に囲まれた農家が点在し、緑で覆われた小島が大海原に浮かぶ姿にも似て大変美しく、わが国を代表する農村の原風景のひとつです。

県と、となみ野地区を構成する7市町村では、散居村の保全・整備を通じて、地域の活性化を図る、となみ野地区田園空間整備計画を進めています。

\*となみ野地区の7市町村：砺波市、城端町、庄川町、井波町、井口村、福野町、福光町



各イラストは整備のイメージ図です。

### 住民意見の反映

住民のみなさんの意向を取り入れるために、屋敷林のある伝統的家屋に住んでいる人を対象としてアンケート調査を行いました(グラフ参照)。また、地域住民、学識経験者、行政等の関係者で構成され、散居村の保全・活用に関する施策の検討などを行う散居村保全委員会や地域住民が自由に意見を取り交わす地域懇話会を開催し、住民の意見を各種施策に反映することとしています。

### 計画の内容

住民のみなさんの意見を取り入れながら、ソフト事業とハード事業の両方の計画を進めています。  
**ソフト事業関連**  
 ソフト事業に関する計画では、地域の景観は、地域住民が中心となって形成していくといった観点から、住民内発型の活動をサポートするソフト事業を展開していくこととしています。

### 屋敷林の維持保全

屋敷林の維持保全を担う人材の登録・育成、組織づくり、苗木の配布・植栽、ボランティア等の派遣システムの構築、相談・要望に応える窓口の設置など

### 伝統的家屋の維持保全

伝統的家屋の維持補修への支援、生涯学習の場としての活用、住み心地を向上させる家屋改修方法の検討など

### 景観保全のための方策

住民協定の促進、地域ぐるみでの景観づくりの促進方策、景観づくりへの企業参画促進のための方策など

### 普及・啓発活動

各種広報媒体による情報発信、講演会やシンポジウムの実施、散居に関する体験学習会の開催など

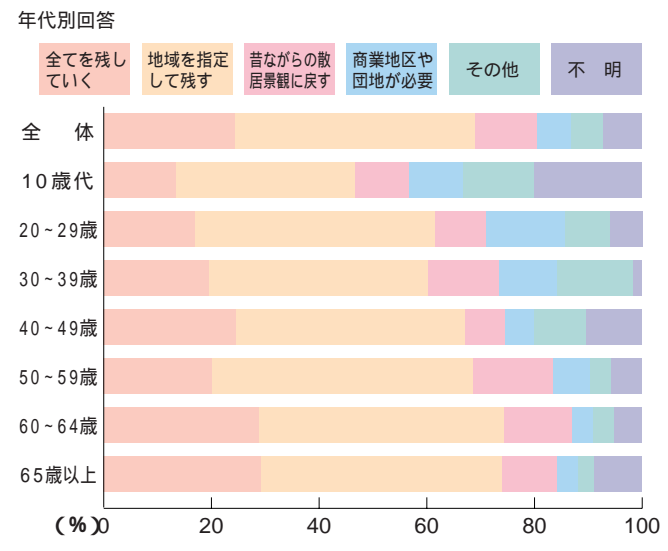
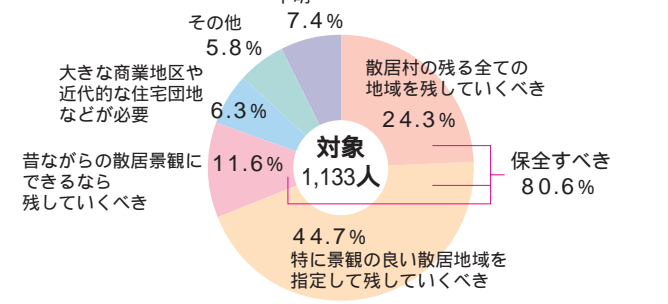
### ハード事業関連

施設整備に関する計画では、中核施設(コア)と地域拠点(サテライト)を整備するとともに、ネットワーク化を図り、砺波平野全体を田園空間博物館としていくことにしています。  
 コアとは、散居の状態が非常に良い、地域特性の異なる二地区を「保全活動型整備地区」、資源活用型整備地区として散居村保全モデルエリアに位置付け、情報発信や学習体験

の機能を相互に補充しながら、散居村の保全・活用をとなみ野全体へ波及させる核としてモデル的に整備するものです。  
 サテライトとは、各市町村の地域特性に合わせ、親水空間整備、田園散策道整備、歴史街道の整備、ため池のピオトープ整備など、景観の保全や自然との共生、歴史文化資源の活用等に配慮した農村づくりのモデルとして整備するものです。  
 注1 保全活動型整備地区  
 砺波平野の散居村保全活動や情報発信等の拠点となる施設を砺波市に整備  
 注2 資源活用型整備地区  
 地域資源を既存の自転車道などで結び、見て楽しむ地区として福野町と井波町間に整備

県やとなみ野地区の市町村では、美しい散居景観を未来の子もたちに伝えるために、地域住民のみなさんとはもとより、県民のみなさんとも散居村を守り育てていくことにしています。

### アンケート調査



問合せ・ご意見は、  
 県庁農村環境課まで  
 ☎076(444)3381



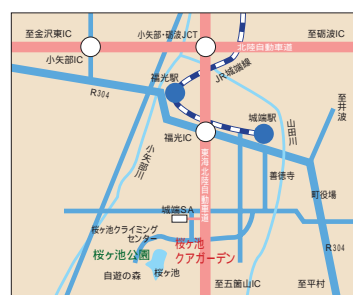
桜ヶ池クアガーデン

桜ヶ池公園に昨年5月オープンした本格リゾート施設。城端町と町民、法人の出資による第3セクターで運営されている。現在開業1周年を迎え、キャンペーンを実施している。周囲には、桜ヶ池クライミングセンター、自遊の森、スケートパーク、遊具広場などの施設もあり、東海北陸自動車道城端サービスエリアからも利用できる。クアガーデン前には特産販売店「ヨツテカール城端」が7月3日にオープンの予定。

営業時間 / レストラン  
午前7時30分～午前10時  
午前11時30分～午後10時  
桜ヶ池温泉  
午前6時～午後10時  
アクアオアシスプール  
午前9時～午後10時  
セラピープログラム(要予約)  
平日 / 午後1時～午後9時  
土・日・祝 / 午前10時～午後9時  
ホテル(平日/1泊2食)  
ツインルーム13,000円～  
桜ヶ池温泉  
中学生以上500円、小学生300円  
アクアオアシスプール  
1,500円(利用は小学生以上)  
セラピープログラム  
プログラムにより設定します。

問合せ / ☎0763(62)8181  
ホームページ / http://www.sakuragaikue.co.jp

電車  
JR城端線城端駅下車 タクシーで5分  
自家用車  
東海北陸自動車道福光ICから7分



桜ヶ池温泉水を利用した多機能運動プール「アクアオアシスプール」。水温は33度から35度。室温は約30度に設定され、水温との差を少なくすることで体への負担を軽くしている。屋外にはパブルマッサージもある。



セラピープログラムは15種類。顔のマッサージ(上)や全身のシャワーマッサージ(右)などがある。



カウンセリングルームでセラピストにプログラムを設定してもらう。その人の要望や体調に合わせて、約4時間のセラピーメニューを行う。



ロッククライミングが体験できる「桜ヶ池クライミングセンター」が隣接している。



桜ヶ池北側にある遊具広場。いろいろな遊具があり、全身を使って遊べる。



やわらかな自然光が差し込むフロント。廊下などにも自然光を取り入れ、安らぎの空間をつくりだしている。



ページュを基調にした「桜ヶ池クアガーデン」。「クア」とは、ドイツ語で「温泉を使った療養」という意味。ここでは、桜ヶ池温泉水を使用している。



シンプルでゆとりのある客室。女性スタッフが考えたパジャマスタイルの室内着が置いてあり、プールや温泉へそのまま行ける。



落ち着いた雰囲気の「情報ラウンジ」では、城端周辺の観光案内もしてくれる。



地元で穫れた新鮮な食材が味わえるレストラン「ジョウハナール」。「畑から一番近いレストラン」がコンセプト。

忘れていた自然の力を取り戻す。  
心と体を健康にするリゾート。  
自然を生かした心地よい癒しの空間へ

桜ヶ池クアガーデン

到着した時から、心地よさが始まっている。「健康でありたい」「疲れを癒したい」というのは、誰もが持っている望み。近年はとくに、身体だけでなく心のリフレッシュにも関心が高まっている。

昨年五月に城端町にオープンした「桜ヶ池クアガーデン」は、ホテルとナチュラルセラピーが一体となった新しい形のリゾートで、現代人の要望にこたえる心と身体を健康を考えた施設となっている。

外国の建物を思わせるしゃれた外観に、心が和む。中に入ると優しい色調の空間が広がっている。デザインや色が人の心に与える効果も配慮され、訪れた時から心地よさを感じさせてくれる。館内には天井をほどよく高くしたり、自然光を採り入れたりと工夫も随所に見られる。

自然の力で健康になる

ナチュラルセラピーとは、温泉や海草などの自然を利用して、健康の三大要素である運動・栄養・休養を無理なく実践する自然療法のこと。「アクアオアシスプール」では、水流や気泡などを使った十三のア

トラクションが、体に心地よい刺激を与える。温泉水のなかを歩くウォーキングレーンやパブルマッサージなどを楽しみながら、いつしか疲れがとれ、体が軽くなる。

「セラピーゾーン」には、十五のセラピーメニューを行う個室が並び、心身のリフレッシュや美容、疲労回復など、カウンセリングで設定したプログラムに従って受ける。専門のセラピストによる心地よい時間を過ごしたあとは、桜ヶ池温泉に入るのんびりとくつろぐ。

温泉は弱アルカリ性で関節や筋肉の痛みなどに効能があり、温泉だけの利用もできる。

ゆったり休む、食べる、遊ぶ。ホテルの客室は、ゆったりとしており、窓からは桜ヶ池や散居村が望める。レストランでは、地元で生産された新鮮な食材を使った味も楽しめる。外からも中からも健康を考えた施設なので、宿泊してゆっくりすればリフレッシュ効果も高い。

桜ヶ池周辺には、子どもたちが遊べる遊具広場やボート乗り場、遊歩道などもある。家族で訪れて緑いっぱい、のびやかな空気にたっぷりふれてみよう。

# 品種にこだわり、飼料を工夫 おいしい肉づくりに込める情熱



これまで数々の賞を受賞



県産豚の改良と普及に取り組む

木島 敏昭さん

1950年生まれ 黒部市在住

素材にこだわった料理対決のテレビ番組「どっちの料理ショー」に登場し、一躍全国にその名が広まった“黒部名水ポーク”。木島敏昭さん(51歳)は、年間に生産する2000頭の肉豚の約1割を特に厳選し、“黒部名水ポーク”として出荷している。先代が始めた養豚業に就業して33年。種豚改良と肉豚飼育の一貫経営で、県産豚の普及に取り組んでいる。

## 脚光を浴びた黒部名水ポーク

「この豚を探した番組プロデューサーが大変誉められたそうですよ」  
そう言って、うれしそうに笑う

木島さん。自慢の「黒部名水ポーク」がテレビ番組どっちの料理ショーで、こだわりの素材に選ばれ、高い評価を得たことは、生産者冥利に尽きる出来事だった。

もちろんこの快挙は、一朝一夕のものではない。木島さんの父・敏夫さんが、庭先で飼った一頭の豚から養豚業を起こしたのが昭和二十年代。三十七年には豚の人工授精所を開設し、以来、県内の種豚改良のリーダー的存在として尽力してきた。四十三年にこの道に進んだ木島さんも、父親譲りの情熱と探究心で、県産豚の改良と普及に取り組んできた。

## ビッグ・ブリーダーのこだわり

現在豚舎には、種豚、肉豚合わせて常時千頭。それを木島さんと奥さんの幸子さんの二人だけで飼育している。親豚の出産は、ほぼ毎日。一・七キロで生まれた子豚が、六カ月で百二十キロに育ち出荷されていく。

木島さんが、もっともこだわるのは品種。ビッグ・ブリーダー(優良な豚の繁殖家)であり、県内では数少ない豚の人工授精所を営む木島さんは、長年「骨太の豚」を追究してきた。

「太い骨の回りには赤肉がしっかりとつきます。それに霜降り系統の豚をかけると、おいしい肉ができるんですよ。よい肉はよい豚から。何と言っても元が大事なんです」

元となる品種改良を積んだ上で、さらにおいしい肉をつくるために、脂肪分を増やし、肉汁が外に出ないようにする飼料の配合に研究を重ねている。おまけに、水は黒部の伏流水。おいしくする工夫が幾重にも込められているというわけだ。

## 富山ならではの豚肉を

早朝からの豚の飼育をはじめ、地域の農家に供給する豚糞を利用

した堆肥づくりなど忙しい毎日を通す木島さん夫婦。そんななか、「弁当に入れて持って行ったら、冷めても柔らかくておいしかったよ」という声を聞くと、生産者として、ますます「新鮮で、安全で、おいしい豚肉」をつくらうという熱意がわいてくる。

「これはまだ夢ですが、富山は和漢薬の研究で有名ですから、たとえば生活習慣病などの予防に効果がある和漢薬を飼料に混ぜて、健康にいい豚肉ができればいいと思っています」

豚肉はもともと良質なタンパク質源でビタミンB<sub>6</sub>が豊富な食材。木島さんは、さらに健康を考えた富山ならではの品質を求め、現代人の食卓にもっと取り入れられるよう工夫していきたいと意欲を燃やしている。



親豚の世話をする木島さん夫婦。早朝5時半の餌やりから仕事が始まる。



## 「県政バス教室」参加者募集

県政についての理解や関心を高めていただくため、「県政バス教室」を開催しています。県の施設や事業の実施状況などを紹介しながら、皆さんのご意見・ご要望をお聞きしたいと考えています。いろいろなコースがありますので、お気軽にご参加ください。

主なコース 世界遺産保全めぐり、ミュージアムリレー、花の名所めぐりなど

申込受付期間

8月・親子バス運行分：6月1日(金)～6月15日(金)

9月運行分：7月2日(月)～7月16日(月)

10、11月運行分：8月1日(水)～8月17日(金)

対象 原則18歳以上の個人、グループ、団体  
小学生が保護者の方と一緒に参加できるコースもあります。

参加料 無料(ただし、入館料等の実費は各自でご負担いただきます。)

申込方法 下記の問合せ先で配布している「県政バス教室の開催要綱」をご覧ください。

「県政バス教室の開催要綱」の郵送をご希望の方は、封筒に「県政バス教室の運行案内希望」と朱書きして、160円切手を同封のうえ下記の問合せ先まで郵送してください。

詳しくは、広報課のホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

問合せ先	所在地	電話番号
県庁 広報課	〒930-8501(住所記載不要) 富山市新総曲輪1-7	076(431)3131
高岡地方県民相談室	〒933-0806 高岡市赤祖父211(高岡総合庁舎内)	0766(26)8400
魚津地方県民相談室	〒937-0863 魚津市新宿10-7(魚津総合庁舎内)	0765(22)9100
砺波地方県民相談室	〒939-1386 砺波市幸町1-7(砺波総合庁舎内)	0763(32)8100

### 「とやま若者チャレンジ事業」企画募集

若者による創造性・チャレンジ精神あふれた企画を募集しています。特に優れた企画には、実施にあたり最高100万円まで助成します。あなたの斬新な発想を是非この機会にカタチにしてください。

応募資格 県内在住の青年(概ね35歳未満、高校生以下を除く)及び県内で活動している青年団体・グループ

募集期間 6月1日(金)～7月16日(月)

企画内容 若者ならではの斬新な発想による先駆的で独創性のあるもの

○若者の自主性、創造性、チャレンジ精神が発揮されるもの

○若者同士が結束し、ネットワークの形成につながるもの

詳しくは、女性青少年課ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1712/1712.htm>

問合せ 県庁女性青少年課 ☎ 076(444)3136

### 「第6回水シンポジウム in とやま」開催

テーマ 「水と緑といのちが輝く～新たな水の世紀へ～」

水が人や自然に与えるさまざまな恩恵や河川を中心とした水の諸問題について、意見交換を行い、水と人との好ましい関係を全国に発信します。

内容 【シンポジウム】8月7日(火)午前10時～

会場：富山国際会議場ほか 入場無料

基調講演

道上正規 鳥取大学学長「ふるさとの川と文化」

分科会(4分科会)

「川と地域づくり」「川と友達になろう」

「身近かな水環境と水質保全」暴れ川を治め清流をいかす」

【現地見学会】8月8日(水)午前9時～

3コース 定員150名 要申込

問合せ 県庁企画用地課 ☎ 076(444)3131

### 「平成13年度県民カレッジ夏季講座」開催

各分野の著名な講師を招き、講演会形式の集中講座を開催します。

テーマ 「より豊かな人間性を求めて～知と感性の新たな出会い～」

開催日	会場	講師
7月11日(水)	教育文化会館	柳田 邦男(評論家、ノンフィクション作家)
7月13日(金)	"	伊藤 和明(文教大教授、元NHK解説委員)
7月14日(土)	"	江川 紹子(ジャーナリスト)
7月25日(水)	高岡文化ホール	佐原 真(国立歴史民族博物館館長)
7月29日(日)	"	松平 定知(NHKエグゼクティブアナウンサー)

定員 700名

受講料 600円(受講回数にかかわらず)

高校生以下は無料。(資料代を含む)

講座案内 受講者募集要項は、県内主要文化施設、市町村の公民館・図書館等で配布しています。

申込受付 6月11日(月)から(先着順)

問合せ 県民カレッジ本部 ☎ 076(441)8635

### 「職業訓練指導員資格試験」のご案内

職業能力開発促進法に基づき、職業訓練指導員の資格を取得するための試験を実施します。

1.試験の免許職種及び試験区分

免許職種	実施試験
造園科、事務科、情報処理科	学科試験、実技試験
機械科	学科試験
その他	学科試験(指導方法のみ)

2.試験の実施日及び会場

区分	実施日	試験会場
学科試験	8月8日	富山地域職業訓練センター 富山市向新庄町一丁目14番40号
実技試験	8月9日	同上 (造園科のみ)技術専門学院 富山市向新庄町一丁目14番48号

受験申請手続き

(1) 受付期間 6月25日(月)～7月11日(水)

(2) 受付場所 県庁職業能力開発課

この試験は、県職業訓練指導員の採用試験ではありません。

問合せ 県庁職業能力開発課 ☎ 076(444)3260

## 編集部から

今月号から、県の各種機関や施設などを紹介する新企画「県ナビとやま」が始まりました。県政業務は、かなり広範にわたっていますので、中には、何をしているのかわかりにくい事務所や施設などがあると思います。ここでは、皆さんに県の仕事を知らせていただくため、できるだけ分かりやすく紹介したいと考えています。

全国の都道府県が発行する広報誌を対象にした「全国広報コンクール(日本広告協会主催)」で2年連続で3席に入選しました。分かりやすさ、読みやすさに心がけた内容が評価されたものです。これからも、皆さんに親しまれる広報誌づくりに努めていきたいと考えていますので、率直なご意見、ご感想を、どうぞお気軽にお寄せください。

本誌は4月号から文字を一回り大きくしています

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。  
(例:最新号から1年間購読を希望する場合は、160円×7回=1,120円になります。)

あて先

〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

県では、電腦県庁に向けた取り組みの一環として、4月から、「申請・届出様式のオンライン提供」、「富山県法規集」を県のホームページに掲載しています。



### 1 申請・届出様式のオンライン提供

様式のオンライン提供数 926件

- 例
- ・公文書開示請求
  - ・建築物の新築若しくは用途変更申請
  - ・食品衛生関係営業の許可申請 など
- 提供する様式は、随時追加していきます。

様式は2種類の電子ファイルで提供

Word97形式: マイクロソフト社製Word97以降のバージョン

PDF形式: アドビ社製アcroバットリーダーバージョン4以降

(お持ちでない方は、県のホームページからダウンロードできます。)

様式は部局順、手続き名称の50音順のほか、キーワードにより容易に検索できます。

### 2 富山県法規集

県の条例、規則等を体系目次や50音順により容易に検索し、閲覧できます。

また、条文に関連する条例、規則等がリンク機能により簡単に閲覧できます。

「申請・届出様式のオンライン提供」、「富山県法規集」は、富山県のトップページ(<http://www.pref.toyama.jp/>)から、ご覧いただけます。

問合せ

「申請・届出様式のオンライン提供」について  
県庁情報政策課 ☎ 076(444)3117

「富山県法規集」について  
県庁文書学術課 ☎ 076(444)3150

## とやまの情報お伝えします!【6月の県政番組】

タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ  
毎週日曜 11:00 ~ 11:30

- 3日 ふるさと探訪 ~小杉町~
- 10日 とやまの砂防
- 17日 男女共同参画社会をめざして
- 24日 ふるさと認証食品

とやまDASH! 富山テレビ  
フォーカス・イン 毎週日曜 9:00 ~ 9:30

- 3日 国宝瑞龍寺
- 10日 公共の宿・温泉
- 17日 外国人から見た富山
- 24日 市電で小旅行

富山が元氣、見たモン勝ち2 チューリップテレビ  
第4日曜 10:00 ~ 10:52

24日 レンズが写す、とやまの姿

とやま県間録 FMとやま  
毎週月曜・木曜 11:30 ~ 11:40  
毎週土曜 11:30 ~ 11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

新聞広報「県からのお知らせ」  
6月9日・23日の朝刊各紙に掲載予定  
富山県ホームページ  
<http://www.pref.toyama.jp/>

## 県政クイズ ご応募お待ちしております。

近ごろよく見たり、聞いたりする「IT」。日本語では「情報通信技術」と訳されていますが、元々は何の略でしょうか。

「テクノロジー」とお答えください。

答えは、特集を読めばわかります。

## 応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想・入手方法を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま5・6月号」クイズ係

締切/6月29日(金)(消印有効)

正解者の中から5名の方に、9・10ページで紹介した「桜ヶ池クアガーデン」のアクアオアシスプールの招待券をペアでプレゼントします。(利用は小学生以上)

## 近代美術館

**横尾忠則 二つの境域**  
【5/23(水)~7/8(日)】  
横尾忠則の代表的なポスター、版画、絵画を約270点展示します。  
一般 900円/高・大 650円/小・中 450円  
常設展示もご覧になれます。



9:30~17:00  
ⓧ月曜・祝日の翌日  
常設展示観覧料  
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円

## 水墨美術館

**茶の美展-肥後細川家伝来・永青文庫の名品**  
【5/25(金)~6/24(日)】  
永青文庫(細川コレクション-東京)から、千利休の愛蔵品など名品約80点を展示します。  
一般 1,000円/高・大 600円/小・中 300円  
常設展示もご覧になれます。



9:30~17:00  
ⓧ月曜・祝日の翌日  
常設展示観覧料(展示室以外は無料)  
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円

## 県民公園太閤山ランド

**ミニSL大試乗会**  
【6/2(土)・3(日) 10:00~16:00】  
県内外から集まったミニSLに試乗できます。



**乗馬体験教室**  
【6/3(日) 9:30~15:00】  
先着300名まで乗馬体験ができます。  
**2001太閤山あじさい祭り**  
【6/23(土)~7/1(日)】

9:00~17:00  
ⓧ火曜(6/26は開園)・祝日の翌日  
入園無料(駐車料金は必要となります)

## 立山カルデラ砂防博物館

**土砂災害防止月間特別展「土石流」**  
【6/1(金)~30(土)】無料  
私たちの生活に大きな影響を及ぼす土砂災害について土石流を中心に紹介します。

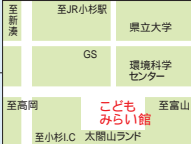


**収蔵品展「立山登山案内図」**  
【7/1(日)~15(日)】無料  
立山や立山カルデラへのガイドマップとしてつくられた江戸期から昭和初期の絵図を紹介します。

9:30~17:00  
ⓧ月曜・祝日の翌日(7/17~8/26は無休)  
常設展示観覧料  
一般 400円 高・大 320円 小・中 200円

## こどもみらい館

**みんなで遊ぼう! プレイガーデン**  
【6/9(土)~7/1(日)】  
グループで楽しむことができる玩具や家庭や地域では体験することができない玩具で遊ぶことができます。



9:30~17:00  
ⓧ火曜・第4水曜・祝日の翌日  
入館無料

## 中央植物園

**植物写真教室 講習作品展**

【6/6(水)まで】無料  
初めての植物染め  
【6/9(土)】要申込  
材料費 1,000円  
企画展示「ミントとラベンダー」  
【6/29(金)~7/18(水)】無料



9:00~17:00  
ⓧ木曜・祝日の翌日  
一般 600円 小・中 300円

## 自然博物館 ねいの里

**自然観察会「イヌワシの森を訪ねる」**  
【6/24(日) 8:00~15:00】  
イヌワシが生息する山で動植物の自然観察を行います。  
場所/池の平(上平村) 対象/小学生以上  
参加費/無料 定員30名 要申込



9:00~16:00  
ⓧ火曜・祝日の翌日  
入園無料

## とやま健康パーク

**屋外プール・オープン!**  
【6/2(土)~】  
講演会「いつも前向きなストロークで」  
【6/3(日)11:00~12:00】無料  
講師/シドニーパラリンピック水泳金メダリスト 成田真由美さん



ⓧ月曜  
健康スタジアム 10:00~22:00(日・祝は19:00まで)  
1日 1,800円/3時間 1,500円/2時間 1,000円  
生命科学館(展示場) 9:30~17:00 200円  
屋外健康づくり施設 9:30~17:00 無料  
小・中学生は半額、幼児は無料です。

## 海王丸パーク

**海王丸総帆展帆**  
【6/3(日) 7/8(日) 7/20(祝)】  
**海王丸パーク誕生祭'01**  
**親子みなと見学の集い**  
【7/8(日)】  
親子で湾内クルージング。  
参加費/無料 定員300名 要申込



入園自由 帆船海王丸は9:30~17:00  
ⓧ月曜・祝日の翌日  
一般 400円 小・中 200円

## 県民共生センター

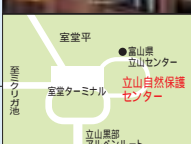
**サンフォルテ フェスティバル2001**  
【6/9(土)・10(日)】  
逢洋子氏による基調講演やワークショップ  
「サンフォルテ発 わたしが始める あなたから始める~新世紀に輝く女=人=男~」を開催します。  
無料(一部有料のワークショップあり)



9:00~21:00(日曜 9:00~17:00)  
図書室 9:00~20:00(日曜 9:00~17:00)  
ⓧ月曜・祝日

## 立山自然保護センター

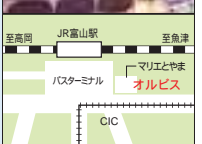
**自然観察ツアー**  
【6/30(土)まで】日曜・土曜  
【7/1(日)~10/8(祝)】毎日  
出発時間 9:00、13:30  
ナチュラリストが、室堂平周辺に設けられた8コースの自然観察ツアーの案内をします。  
参加費/無料  
天候により中止になる場合があります。



8:30~17:00  
ⓧ無休(10/31まで)  
入館無料

## 県民小劇場オルビス

**「舞台芸術・芸能-発見ライブ in ORBIS」**  
**ゴスペルっておもしろい!**  
【6/25(月) 18:30~】  
亀渕友香&VOJAを迎え、パワフルで刺激的な歌声による福音歌「ゴスペル」を披露します。  
出演/亀渕友香&VOJA  
曲目(予定)/ He'll make a way  
I don't feel no ways tired  
Hold on 他



3,000円(前売・当日とも)全席自由



# とやま 音のある 風景

Vol.33  
矢部ではねる鯉  
福岡町

## 緑の風わたり、 水の恵みに躍る

家を守る木々とみずみずしい水田が続く福岡町矢部やべ。のどかな風景のなかに、たつぷりと水をはった池がいくつも並び、青い空を映している。水のなかには、群れながら泳ぐ鯉。黒色の真鯉がほとんどだが、錦鯉が色鮮やかに泳ぐ池もあり、赤と白の「紅白」、黒を加えた「三色」、金色に輝く「黄金」などが美しさを競い合っている。

福岡町は、小矢部川と庄川の扇状地の北端にあり、清らかな水が豊富に湧き出る。ここ矢部では、湧水を活かして鯉の養殖が行われている。

江戸時代の終わりころ、一人の若者が大和の国から鯉を買い入れたのが矢部の養鯉の始まりといわれる。この地の豊富な水量は、湿地をつくり稲作を困難にしていた。それを鯉によって恵みへ変えようと、人々に広め、品種改良にも取り組んだ。

やがて鯉の産地として県外にも知られるようになり、現在は県の生産量の八十五パーセントを占める。

水温が低い冬の間、池の底でじっとしていた鯉も、今はのびやかに泳ぐ。美しい流線形の姿が、バシャッと水音をたてて跳ね上がる。ザボンと潜ると、鯉は、勢いよく水のなかを進んでいく。あたりは再び静寂に包まれる。

県内50箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。